



MAP 22 理容室スマイル

フラットなシャンプー台で
首が疲れない



バリアフリーの店内は
広々してゆっくりくつろげます



先代から受け継ぐ看板



レディースシェービングや
育毛ケアも行う

店主のことば

「趣味はアロマセラピーと言いたいけれど、仕事になってしまいました」と中野さん。【理容室 スマイル】のほか、高輪4丁目にある、【理容室アノ】とアロマセラピースクール【アノアロマ】のオーナーでもある。老舗理容室に生まれ、大手企業に勤務していた中野さんは、OLをしながら理容師と介護福祉士、アロマセラピー・インストラクターの資格を取得し、今ではこれらの専門知識を活かしてトータルリラクゼーションを提供している。ホテルのコンシェルジュが薦めることもあって、【理容室アノ】には外国人のお客さんもしばしば訪れるそうだ。「外国の方は、日本人が鋭と櫛で仕上げるのを、『スベシャルだね』と高く評価して下さいます」と中野さん。「趣味は人とおしゃべりをする事。今だからこそネットではなく人と人が直接向き合って繋がる事を大切にしたいと思っています」。高輪の床屋談義の歴史は、かたちを変えながら続いている。



確かな技術と居心地の良さが自慢。
高輪で70年以上続く、笑顔の理容室。

昔の床屋は、地域の人たちが日がな一日無駄話をする寄合所だった。「床屋談義、という言葉の通り、人と人とのつながりで続いてきた店なんです」と3代目店主の中野智江子さん。令和元年に高松宮邸の正面から引っ越してきた新店舗の店先に、季節によってオープンエアのベンチを設えているのも、地域の笑顔が花咲く場所でありたいという思いからだ。聞けば、過去には【理容室スマイル】をきっかけに結婚した人たちまでいるのだとか。現在、この店でハサミを握るのは勤続20年超の女性スタッフたち。新旧のまちの住人に、床屋好きの外国政府高官までいろいろな人が訪れる。店内はバリアフリーで、高齢者や障害者向けの出張サービスも行う（要予約）。

Shop Info

お母様で理容師の瀧前悦子さん(左)、店主 中野智江子さん(右)

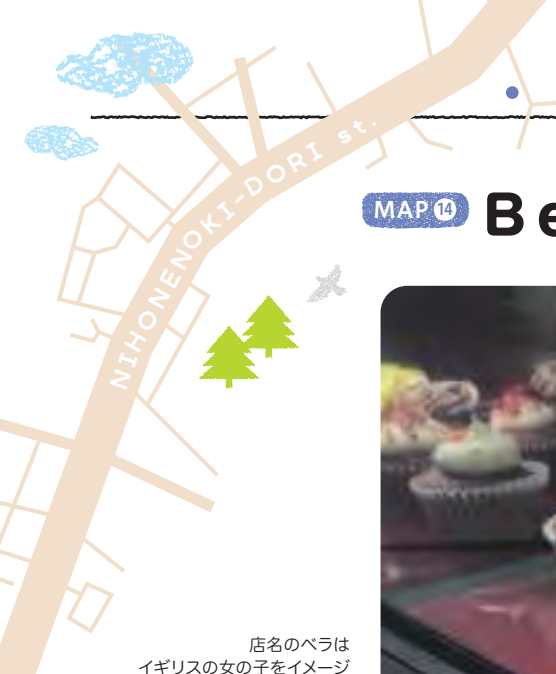
- ☎ 03-3449-1938
- 📍 港区高輪1-19-11
- 🕒 9:00~19:00
- 📅 月曜、第2・3火曜
- 🌐 <http://smile.ano-aroma.com/>

予算 総合調髪(男性のみ、シャンプー・カット・顔剃り)4,500円、シャンプー&カット4,000円、カラー、白髪染め、パーマ 各+3,000円〜、シャンプー2,500円、バックシャンプー+500円、フェイシャルケア4,000円、ヘッドスパ(要予約、シャンプー別)4,000円(税込)

ベラス カップケーキ

MAP 14

Bellas Cupcakes



店名のベラはイギリスの女の子をイメージ



イギリス伝統のレシピにこだわっている



シュガークラフトのスペシャリストを揃える



バラの花のようなバタークリームは見た目もかわいい。

店主のことば

旅行が趣味という芦田さん。「いろいろなものを見て触れて現地の文化を体感したいという思いで、さまざまな場所を旅してきました。ペルー、トルコ、ヨーロッパ、ニュージーランド、カナダ、アメリカなど、主にバックパック旅行です。アメリカは長距離バスのグレイハウンドを使って大陸横断。ペルーではアマゾンの奥地でコテージに泊まりました。親日家の多いトルコでは、飛行機が故障してトラブルに見舞われましたが、同じ飛行機の人が自宅に泊めてくれ、翌日のホテル探しまで手伝ってくれました」というエピソードも。こうした旅の見聞が仕事にも活かされていると言う。「カップケーキの図案は、お客様からいただくほか、ご希望のイメージに沿ったものを提案することも多いです。さまざまな文化の背景をふまえて提案することが大事なので、いろいろな国の文化を肌感覚で吸収してきた経験が役に立っていると思います」と教えてくれた。



お祝いごとやシーズンイベントに最適。見て楽しく、食べておいしい、カップケーキ

2010年にイギリス人女性の小さなキッチンから始まった【ベラスカップケーキ】。「イギリスでは、ホームメイドのカップケーキにメッセージをつけてみんなでお祝いする文化が根付いているんです。そんなカップケーキの文化を日本にも広めたい、という創業者の思いから始まりました」と語る、代表取締役の芦田均さん。店頭で常時10~15種類を販売するほか、ネット販売も。ご褒美スイーツとしてはもちろん、美しいシュガークラフト付でウェディングや誕生日に、ロゴをプリントして会社や学校の記念日に、とさまざまに利用されている。地域のハロウィンイベントでは、カップケーキのプレゼントも。しっかり、地元イベントを盛り上げることも忘れてはいない。

Shop Info

代表取締役の芦田均さん(右)とスタッフの方々

☎ 03-6447-7279

🗓 月曜

📍 港区高輪2-1-6

🌐 <https://bellas-cupcakes.co.jp/>

🕒 火~金10:00~15:00、土日10:00~17:00

📌 予算 350円~、カップケーキタワー(応相談)



まきのそうほんてん

MAP 02

牧野總本店



重厚感溢れる建物。
躯体は戦前のものだ



各宗教の葬儀、家族葬、直葬、などに幅広く対応



葬儀の伝統文化を伝える役目も担っている豊島さん

ホームページで葬儀の心得や知識を細かく公開している

店主のことば

「小さい頃からアメ車のキャデラックとかトランザムみたいなアメリカ文化の格好良さに憧れていました。高校時代は『バリバリ伝説』や『あいつとラパイ』みたいなバイク漫画が好きで、愛車はレーザータイプのホンダCBR。当時観た映画『イージーライダー』に出てくるキャプテンアメリカという大型のハーレーダビッドソンは格好良かった。その後38歳で大型免許を取得して、ハーレー乗りになりました。ハーレーのチームでツーリングにも行きます。みんな黒づくめのバイカースタイルですが、温泉を巡って、『あそこの豚丼がおいしいらしい』と食べに行ったりする温泉チームです。音楽も、ザ・ローリング・ストーンズやザ・ブルーハーツみたいなストレートなロックが好きで、様々なロックフェスに行くことも。やりたいことがたくさんあって、時間がいくらあっても足りません。」



とよしまようこ
代表取締役社長 豊島洋子さん

江戸時代から150余年の伝統を継ぐ、家族葬から大規模葬儀まで任せて安心の老舗葬儀社。

創業150余年の【牧野總本店】。社長の豊島洋子さんの先祖は、高輪に江戸屋敷を構えていた茨城の殿様、牧野家の御用達桶職商人という。ある時、牧野家から棺作りの特命を受け、屋号の使用を許されたという逸話が残る。江戸時代から近隣の寺社と地元の人たちと共に、葬儀や行事に関わってきた実績があり、社葬など大規模葬儀のノウハウは全国トップレベルだ。「葬儀社というのは、葬儀に関することで知らないことがあってはいけないんです。長い歴史に裏打ちされた知識と経験の上に研鑽を重ね、みなさまのお役に立てるよう準備をしています」と豊島さん。「どんなことでもお気軽にお尋ねください」と言う、その言葉の裏には長きにわたる信頼と実績の重みがあるのだ。



Shop Info

☎ 0120-506-272
📍 港区高輪1-21-1
🕒 24時間受付

🗓 年中無休
🌐 <https://makihon.co.jp/>

予算 家族葬から大規模葬儀まで、予算に応じて、事前に明確な見積りをご提示。